

広報たかお 11月号

発行日 2025（令和7）年11月1日
発行 高尾住民自治協議会

世帯数 131世帯 人口 240人
高齢化率 67.5%（9月末現在）

できごと

地域課題を共に考える



市議会議員さんとの 意見交換会が行われました

左から陶山議員、山下議員、宮崎議員、西口議員（4名のほか山口議員も傍聴で出席されました）

- 10月24日、伊賀市議会議員さんとの地域意見交換会が行われました。

高尾からは ①旧高尾小学校体育館の今後について（避難所としての復活）

②「岳の里」の今後について（運営継続のための財源確保）

の2つの大きな課題に重点を置いて意見交換がなされました。

- 体育館については、地域にとって重要な避難所であり交流拠点であるにも関わらず、当時の市行政が公共施設最適化計画を根拠に用途廃止ありきで進めた経緯や現在の拠点避難所である「岳の里会館」では高尾の地域特性からも避難所としての役割をほとんど担えない状況であることなどを理解いただきました。
- 「岳の里」の運営継続については、まず、これまでの経緯の説明と他に例を見ない地元有志ボランティアの熱意による貴重な運営のかたちや取組みに対する高い評価を得ていることについてセンター長から報告がなされ、現在の補助金（3年間）が終了したあとの財源確保の課題を訴えました。

議員さんからは、現在市において、住民自治のあり方の見直しを進めており、地域の課題に応じた地域包括交付金の算定方法も検討していることや高尾の地域づくり計画にも掲げた「ふるさと納税」の地域配分、集落支援員の配置など支援策を検討していること、他の財源確保について議員さんも介護予防の財源活用の可能性を探っていくことや地域と企業の連携などのアイデア提案も行っていくことを話されました。

そのほか、消防本部組織再編計画による消防署の遠距離化への不安や災害時の集落孤立防止策としての道路整備、孤立した場合の衛星通信機器の配備など通信手段確保の必要性、冬季の除雪凍結対策、枯倒木による通行障害対策についても課題を共有しました。



「岳の里」の重要性、必要性の意義を
画面資料で説明する篠木センター長

出合床並獅子神楽保存会



あいにくの雨天のため種生生活改善センターでの演舞となりました



●祭りの伝統芸能である獅子神楽の継承が難しくなっているなか、**出合床並獅子神楽保存会**による奉納演舞が10月25日の種生神社宵宮祭で披露されました。丁寧で優美な舞に会場からは惜しめない拍手が送られました。

「己書」に挑戦！第1回～己書に触れる～

●10月4日「己書体験教室」の第1回目が開催されました。従来の技法の常識を超えて自分の気持ちを自由に表現することに最初は戸惑いもあったようですが、次第にコツを習得され、個性あふれる作品を書かれていました。



「いきいきサロン」が開催されました

●10月18日のいきいきサロンは、健康づくりの会の久保さんを講師にお招きして「転倒予防教室」を開催しました。手や足の指を動かす簡単な体操やゲームなどをまじえながら、体全体の機能を整えることや脳のトレーニングも転倒予防には大切であることを学びました。



★地下式消火栓について★



★火災が起こった時に消火栓は大切な設備ですが、普段使用することはないため、仕組みについて記憶があいまい

になっている方も多いかと思います。消火栓は砂等で硬くなった蓋をハンマーで叩いて外し、口金具のキャップを取ってホースをつなぎハンドルを回すと水が出ます。ところで、**横に**ついているレバーは何か？これは、消火栓のヘッドを交換するとき水が吹き出ないように操作するためのもので、消火活動では使用しませんのでご注意ください。(通常○(開)の位置です)

11月 行事予定

- 4日(火) 広報部会 19:30～
 - 9日(日) 己書体験教室② 13:30～市民センター
 - 12日(水) 配食サービス
 - 14日(金) グラウンドゴルフ
 - 15日(土) なかよし(中出・原池)サロン 13:30～
教育文化部会 19:00
 - 15日(土)～17日(月) 青山ふるさと美術文化展覧会
9時～17時(17日は正午まで) 青山ホール
 - 21日(金) 広報部会 19:30～
 - 23日(日) 青山クリーンデー(午前中)
 - 25日(火) 介護予防健康体操
 - 28日(金) グラウンドゴルフ(今年度最終)
 - 29日(土) 自治協運営委員会(定例会) 19:00～
- ※11/9～15は秋の火災予防運動で消防団が巡回します。